

活性化情報
中小企業
かごしま

2014
第713号

11

今月の特集

特集 「ものづくり補助金」の
活用事例紹介



鹿児島県中小企業団体中央会



1 特集

「ものづくり補助金」の活用事例紹介

19 「特別寄稿」 時代の風を読む

ネット活用による「建設業に特化したサービス提供」 で鹿児島から全国展開

株式会社インターウェブ 代表取締役 倉橋 利一 氏

25 中央会の動き

第 66 回中小企業団体全国大会
かごんまわっぜかフェスタ' 14
地域別交流懇談会・異業種間連携研究会

29 トピックス

株式会社ハラダ精工 経営革新計画承認

31 インフォメーション

32 組合インタビュー

鹿児島県バイオフィレスト事業協同組合

理事長 上村 清俊 氏

～森林資源の有効活用で、未来のきれいな水と空気を作ります～

33 教えてぐりぶー！組合運営（理事会の代理出席の可否）

34 Never Give Up! 元気を出そう！がんばれ中小企業

元気・明るく・幸せに！

女性のきれいづくりに奉仕する

有限会社美顔のクキタ 代表取締役 久木田 弘 氏

37 業界情報（平成 26 年 9 月情報連絡員報告）

39 倒産概況（平成 26 年 10 月鹿児島県内企業倒産概況）

41 中央会関連主要行事予定

「ものづくり補助金」の活用事例紹介

中小企業支援のため、ものづくり補助金や創業促進補助金、経営革新支援制度、IT化推進、労働等の様々な施策があり、課題解決や新たな事業などへ挑戦する中小企業の多くが、これらの施策を有効活用しています。

「ものづくり補助金」は、「中小ものづくり高度化法」の技術を活用したものづくりに取り組む中小企業者等の試作品開発や設備投資等を補助し、ものづくり産業基盤の底上げ・即効的な需要喚起による経済活性化を目的に、平成24年度補正予算でスタートしました。

平成25年度補正予算では、付加価値額や経常利益の向上を達成する“革新的なサービスの提供”等を行う商業・サービス業等に対しても支援対象を拡大し実施しています。

本特集では、ものづくり補助金を活用した17事例を紹介します。

《事業者・概要・掲載頁》

(五十音順)

事業者	概要	頁
アロン電機株式会社	加工機インライン型工具磨耗検査装置の開発	2
株式会社栄電社	「中空系バイオリクター」によるアンモニア態窒素除去システムの自動制御プログラム開発	3
エス・パックス株式会社	カッティングプロッターで形状提案・サービス強化	4
鹿児島県オーストリッチ事業協同組合	健康に優しく美味しい鹿児島県産ダチョウ肉の品質・加工技術向上	5
九州化工株式会社	地域資源と独特な発酵技術を活用した発酵調味料の開発・改良	6
株式会社キンコー	高精度スリット刃加工技術の確立	7
交和電気産業株式会社	紫外から赤外までの広い波長範囲をカバーする植物育成用LED光源の開発試作	8
小正醸造株式会社	ノンアルコール焼酎製造工程における殺菌処理設備の増強	9
株式会社サンテック	携帯端末機器ディスプレイ用高精度、高速、光学系フィルム貼合装置開発プロジェクト	10
株式会社ジクヤ精工	耐摩耗性の向上目的で製品の先端部分に超硬ロー付品の試作と円筒研削盤の導入	11
株式会社南光	レアメタル（タングステン・モリブデン・タンタル等）の切削加工における加工条件を見出す為の試作開発	12
濱田酒造株式会社	短期熟成技術の確立による芋焼酎の生産効率化と品質の多様化	13
有限会社藤井ピアノサービス	グランドピアノ並みのソフトペダル機能を有する新型アップライトピアノの試作開発	14
株式会社藤田ワークス	量産化設備対応を目指した高精度YAGレーザー溶接ロボットシステムの構築	15
有限会社山吉國澤百馬商店	かつお本枯節を使用したふりかけ（かつおでんぶ）の試作開発	16
株式会社ヨシカワ	粉体供給機のコスト削減による競争力強化事業	17
株式会社YPK	ビーコン・システム（位置情報・探索無線システム）の設計、開発	18

加工機インライン型工具磨耗検査装置の開発

アロン電機株式会社

■事業者の概要

連絡先	薩摩郡さつま町永野 950 番地	代表者	代表取締役社長 坂元 剛
電話番号	0996-58-0331	F A X	0996-58-0365
主な業種	製造業その他	U R L	http://www.aron.co.jp/

■実施した事業の内容と成果

電動ズームレンズを有する高感度カメラを用いて切削工具（ドリル、エンドミルなど）の磨耗状態を撮像し、未使用時の標準画像との二値化データ比較で算出したマッチング率により継続使用可否を判定する工具磨耗検査装置の開発に取り組んだ。

なお、事業の成果として以下の技術を構築した。

- ①外部振動抑制技術、②機械系の高精度位置決め技術、③装置内振動を検出し撮像タイミングをコントロールする技術、④マシニングセンターから工具を着脱させるハンドリング技術、⑤焦点画像合成により浅い被写界深度を模擬的に拡大する技術、⑥動的閾値法により表面状態の差（画像濃淡差）に追従する技術、⑦良品・不良品の判別閾値を自動的に導出する技術

■事業化に向けての今後の取組み

補助事業を活用して、工具メーカー向けの高機能版（搬送系）と金属加工メーカー向け廉価版の工具磨耗検査装置の開発を行ったが、市場調査により金属加工メーカー向け廉価版のニーズが高いことが判明している。また、大手金属加工メーカーに本検査装置の仕様、オペレーション手順等を伝えPRに努めている。

事業化に向けては、今期は主に市場調査に注力し、調査で得られた顧客ニーズの対応可否などについて検討を重ねていく。そのうえで来期初旬から、調査結果をベースにした具体的なビジネスプラン展開を図っていく予定である。



試作開発の様子



工具磨耗検査装置

「中空系バイオリアクター」による アンモニア態窒素除去システムの自動制御プログラム開発

株式会社栄電社

■事業者の概要

連絡先	鹿児島市下荒田 1-36-24	代表者	代表取締役 満石 公一
電話番号	099-250-3348	F A X	099-250-3374
主な業種	設備工事業	U R L	http://www1.bbq.jp/eidensha/index/

■実施した事業の内容と成果

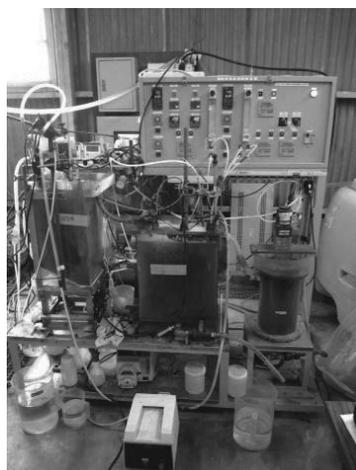
バイオガスプラントより排出される、メタン発酵排水の高濃度窒素を除去する「中空系バイオリアクター」の制御プログラム開発に取り組んだ。

実際にメタン発酵プラントから排出される「高濃度窒素排水」を運搬し、それを使って窒素除去の試験を行った。硝化槽の硝化液を前段の脱窒槽に循環させ、硝化槽処理水と脱窒槽処理水の濃度を計測し、状態に応じて循環流量、pH 調整値、原水流量、硝化槽曝気風量、脱窒槽攪拌回転数、メタノール投入量などを制御するプログラムの開発に取り組み、試行錯誤の末、安定的な窒素除去処理を維持するプログラム開発に成功した。

■事業化に向けての今後の取組み

弊社の「高濃度窒素除去装置」は、他の方式に比べ窒素除去速度が速く、設備のコンパクト化が可能である。また、窒素濃度が高濃度(2,000mg/L 程度)のまま処理できるため、希釈水などが不要である。

今後は、装置の更なるコストダウンに取り組む、市場における競争力を強め、全国のバイオガスプラントや窒素排水で困っている工場等をメインターゲットとした営業活動を推進する計画である。



メタン発酵排水試験機



パイロット試験機

カッティングプロッターで形状提案・サービス強化

エス・パックス株式会社

■事業者の概要

連絡先	鹿児島市谷山港2丁目2番地9	代表者	代表取締役社長 下園 廣一
電話番号	099-262-1111	F A X	099-262-3896
主な業種	パルプ・紙・紙加工品製造業	U R L	http://s-pax.co.jp/index.html

■実施した事業の内容と成果

従来、化粧箱等を提案する場合は、箱の立体形状とデザインを別々に製作し、手作業にて糊づけし貼り合わせて提示する方法をとっていた。また、デザインの印刷も事務用のカラープリンターを使用していたため実際の印刷機の色を正確に表現することができなかった。

今回、ものづくり補助金で、印刷されたデザイン面を正確な位置情報によりカットするカッティングマシンと、鮮明な色彩とプリントスピードの高速化が可能なUVプリンターを導入したことにより、顧客の要望する完成形に近いサンプル箱を提案できるようになった。

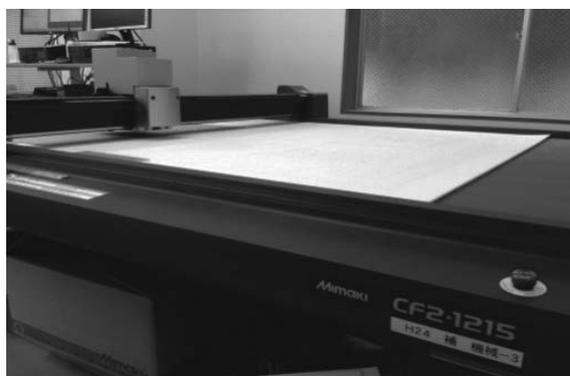
また、デザインから製造までのリードタイムも短縮され、短期間でより密度の濃い提案が可能となった。

■事業化に向けての今後の取組み

お客様の要望する完成形に近い箱を提案することができるようになったことで、新規の箱の受注推進に大いに貢献すると考えており、現在の化粧箱の売り上げの5%増を新規の受注目標に想定している。

さらに、主要な顧客である地場企業に対して、店頭POP・イベント販促品・マッチングフェア販促等のPOPツール等も化粧箱と一緒に提案することが可能となり、より顧客の目線に立った地域密着型の営業が可能となった。

今後は、競合する県外資本の大手ライバル会社と対等な営業展開ができるものと期待している。



カッティングプロッター



販促用POPツールの試作

健康に優しく美味しい鹿児島県産ダチョウ肉の 品質・加工技術向上

鹿児島県オーストリッチ事業協同組合

■事業者の概要

連絡先	鹿屋市高牧町 15560-10	代表者	代表理事 安藤 勝利
電話番号	0994-46-3090	F A X	0994-46-3090
業 種	協同組合（農業）	U R L	http://www.k-ostrich.com/ecc/html/

■実施した事業の内容と成果

ダチョウ肉は、低カロリー、低脂肪、高タンパク等により、健康にやさしいことで需要が伸びつつあり、組合単独で「創健鳥」の商標登録を行い、本格的な出荷体制を実現する計画である。

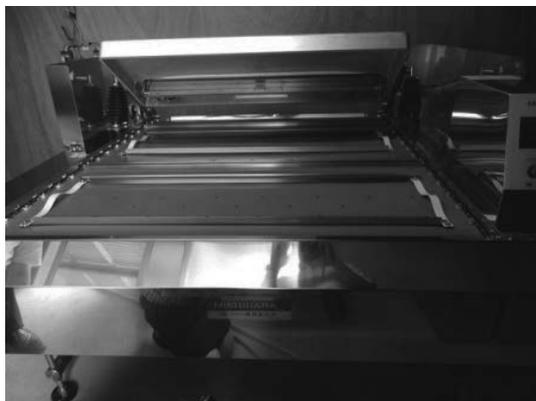
しかし、現在の設備では加工方法がネックとなり需要に生産が追い付かない状況となっている。また、ダチョウ肉本来の美味しさを消費者に届けるための品質保持も重要な課題となっている。今回、真空包装機を導入したことで、従前の4倍近い量の包装が可能となった。

また、急速冷凍機の導入により、肉の細胞を破壊することなくわずか数分で瞬間冷凍が可能となり、懸案であった鮮度保持や品質面での更なる向上が実現し、高品質なダチョウ肉の提供が可能となった。

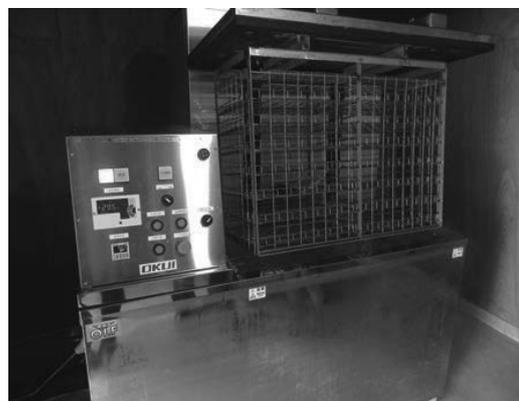
■事業化に向けての今後の取組み

最新設備の導入によって、鮮度及び品質保持の飛躍的な向上が実現した。また、加工及び保管コストを大幅に削減できるため、従来よりも低価格でダチョウ肉を消費者に提供することが可能になり、一層の需要拡大が見込まれる。

今後は、計画的なダチョウ生産を推し進め、ダチョウ肉の供給体制を整備することにより、鹿児島県の新たな特産品としてのブランド「創健鳥」の確立を目指す。



真空包装機



急速冷凍機

地域資源と独特な発酵技術を活用した 発酵調味料の開発・改良

九州化工株式会社

■事業者の概要

連絡先	鹿屋市田崎町 1100 番地	代表者	代表取締役社長 中屋 省三
電話番号	0994-42-4121	F A X	0994-42-4123
主な業種	食品添加物製造業	U R L	http://www.kyushukako.co.jp/

■実施した事業の内容と成果

弊社は、国内で唯一発酵からの一貫生産によりクエン酸を製造しているメーカーであり、その固有技術を駆使して発酵酸味液（地域固有資源サツマイモ澱粉粕をクエン酸発酵させた抽出液）を製造している。

発酵酸味液は、原料及び発酵由来の成分により濃い褐色の液体であるが、その色調のために使用できる用途が限定されるという問題があった。

そこで、本事業により脱色方法を研究し、最も有効な方法及び樹脂の種類を見出した。さらに、脱色樹脂設備を導入することで淡い色調の新商品が完成した。

■事業化に向けての今後の取組み

本事業により開発した発酵酸味液は、健康食品や一般的な食品の酸味料として使用されることから、食品改良剤（味付け、柔らかさ固さの調整、抗菌性付与）の原料としての用途を目標に取り組みたい。最終的にはコンビニ弁当、冷凍食品、介護用食品等で使用されることになるが、これらの産業はいずれも成長分野であることから、需要の拡大が期待される。

今後の事業化に向けて、従来の発酵酸味液のユーザーへの営業強化並びに新たな顧客の獲得に努め、販売増進に取り組んでいく。



導入した脱色樹脂設備



成果品（左）と既存の発酵酸味液（右）

高精度スリット刃加工技術の確立

株式会社キンコー

■事業者の概要

連絡先	薩摩川内市小倉町 7561	代表者	代表取締役 吉見 嘉之
電話番号	0996-26-3630	F A X	0996-26-3076
主な業種	金属製品製造業	U R L	http://www.precision-kinkoh.com

■実施した事業の内容と成果

テレビ、携帯電話、デジタルオーディオプレーヤー、パソコン、冷蔵庫、エアコン等の家庭用電子機器類など、便利な機械を動かすための機械の知能が電子回路基盤である。電子回路基盤は、多数の素子を回路基盤にまとめた電子部品であるが、補助事業では、回路基盤を製作するために不可欠な IC パッケージ金型のスリット刃(幅 0.25mm)の高さのバラつきを抑える加工技術の確立に取り組み、高精度研削盤の導入や最適な砥石の選定、プログラミングなどの試作を繰り返した結果、全て±0.005mm 以内に抑えることに成功した。

■事業化に向けての今後の取組み

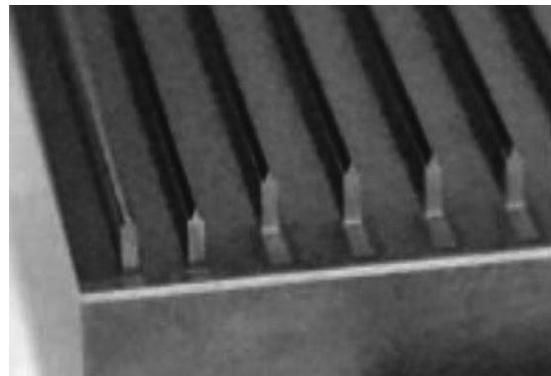
IC パッケージ金型によって作られる回路基盤は、電子回路基盤として、日常使用する様々な機械に組み込まれており、我々の生活に密接に関わっている。

回路基盤は、セラミック製と樹脂製に大別できるが、弊社が取り扱うセラミックは樹脂と比べると高コストであるが、高品質で放熱性に優れているため、車載用の基盤での採用が増えている。

補助事業の成果として、スリット刃の高さを均一にする加工技術を確立したことで、より高品質の回路基盤の製作が可能となった。創業以来、精密治工具分野のノウハウを活かし、顧客の専門治工具の開発、製作、改良等に取り組み、顧客のニーズにきめ細かく対応してきたが、今後はスリット刃の営業にも注力していく予定である。



工場外観



スリット刃

紫外から赤外までの広い波長範囲をカバーする 植物育成用LED光源の開発試作

交和電気産業株式会社

■事業者の概要

連絡先	出水市高尾野町唐笠木 1817-1	代表者	代表取締役 藤井 敏
電話番号	0996-82-5110	F A X	0996-82-5188
主な業種	電気機械器具製造業	U R L	http://www.emc-kowa.jp/

■実施した事業の内容と成果

植物栽培には育成用に人工光が使用されているが、既存の照明製品は単波長か二波長の光で構成されている。同社では四波長の可視光に加えて紫外から赤外までの幅広い波長帯域をカバーする植物育成用LED照明の開発試作を行った。

- ① 新規蛍光体の導入開発により超高演色 Ra95 以上の光源を実現
- ② 紫外、可視光、赤外チップの実装設計により 80W 光源を開発
- ③ 各波長の出力制御が可能な制御器開発により各波長による補光の出力調整が可能
- ④ 独自の筐体構造の採用によりガス系注入機能付きの筐体を開発

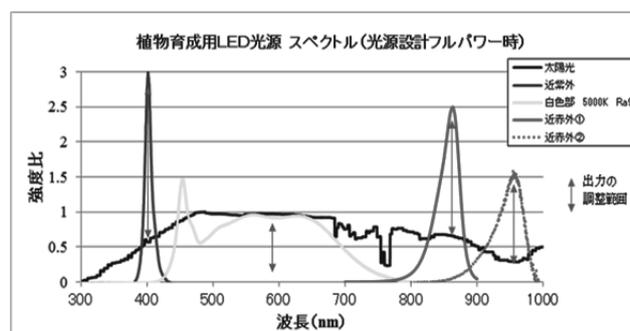
■事業化に向けての今後の取組み

今回開発した技術により、単一面発光光源による超高演色の疑似太陽光により、80~800W までの大型照明の展開が可能となった。

今後は、公設試験機関等に実機による実用試験を依頼して効果の検証データを蓄積し、個々の植物に必要な光源仕様及び出力等の改善・開発を重ね、植物工場等の各種ニーズに最適な照明を開発し量産化する。ターゲットユーザーは、植物工場、民間農業団体、公設試験場等を想定している。



植物育成用 80W 照明及び制御器



発光スペクトル(フルパワー時)

ノンアルコール焼酎製造工程における 殺菌処理設備の増強

小正醸造株式会社

■事業者の概要

連絡先	日置市日吉町日置 3309	代表者	代表取締役 小正 芳史
電話番号	099-292-3535	F A X	099-292-5080
主な業種	食品製造業	U R L	http://www.komasa.co.jp/

■実施した事業の内容と成果

弊社が製造するノンアルコール焼酎の製造工程における殺菌処理設備の増強に取り組んだ。従来、ノンアルコール焼酎の殺菌工程を手作業で行っていたが、新たに導入した大型殺菌装置にて殺菌工程を機械化することに成功した。これまでは原液を瓶に詰めたものを熱湯にどぶ漬けし殺菌を行っていたが、新しい殺菌装置の導入により、詰める前の原液自体に殺菌を施すことで、どのような容器（紙パック等）にも詰めることが可能となり、時間短縮、省人化等の大幅な作業合理化と大量生産を実現した。

■事業化に向けての今後の取組み

中東でも日本食レストランは増加の一途であるが、追い風として世界的な日本食ブーム、更には世界遺産登録など、更なる拡大の要素は大いにある。また、アルコールの飲用ならびに料理酒等での使用が戒律として禁じられた中東地域において、ノンアルコール焼酎の可能性が大いにありと考えられる。実際引き合いのあった中東の日本食レストランチェーンは、現在3店舗を展開中であり、2017年までに17店舗の出店を表明しており、弊社ではこの拡大に連動した出荷増により、今後3年間で現状の2倍強の出荷増を見込んでいる。

本事業の成果により、大量受注への対応が可能となったことで中東向けの取引が正式受注に結び付き、現在、中東向けのノンアルコール焼酎の紙パック商品を製造し輸出を開始している。

さらには国内市場への投入に向け、異なる容量や新たな容器のノンアルコール製品の開発を進めている。



中東向けノンアルコール焼酎



稼働中の大型殺菌装置

携帯端末機器ディスプレイ用高精度、高速、光学系 フィルム貼合装置開発プロジェクト

株式会社サンテック

■事業者の概要

住 所	薩摩川内市青山町 5478 番地 35	代 表 者	代表取締役 松元 竜児
電話番号	0996-22-1221	F A X	0996-22-1220
主な業種	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置製造業	U R L	http://www.sun-tec.net/

■実施した事業の内容と成果

弊社では、フラットディスプレイ製造装置を製造しており、携帯端末（スマートフォン等）に搭載されているディスプレイの最終組み立て工程において、ディスプレイに貼り合わせるシートの画期的な方法による装置の開発に取り組んだ。

現在の組み立て工程では、ディスプレイに光学系フィルム及び粘着材の貼り合わせを 1 工程ごとに貼り合わせる方式が主流である。しかし、この方式では生産能力に限界があるため、今回、新規貼合方式の開発に取り組み、新工法を確立した装置を開発することに成功した。

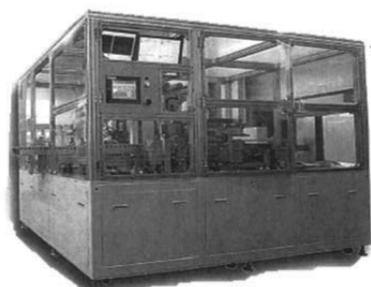
■事業化に向けての今後の取組み

本装置の特徴は、パネルディスプレイ（被着体）の自動搬送、貼り合わせるシートの被着面の自動剥離及び貼り付けの 3 工程を同時に行うことが可能であり、また、貼り付け工程での懸案事項である被着面へのゴミ混入を軽減することができる。

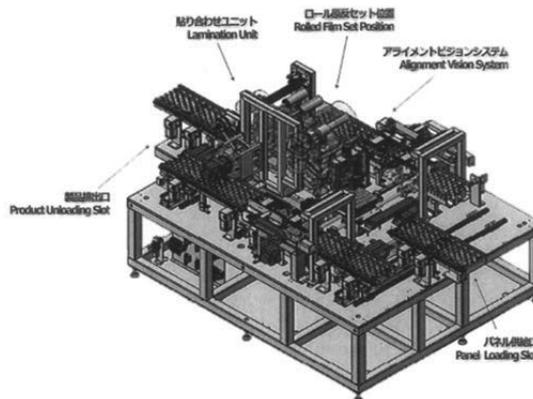
従来の工程の約半分のサイクルタイムでの貼り付けを可能とすることから、これまでの工法に比べて、圧倒的な優位性を有している。

スマートフォンやタブレットは、今後も安定した伸びが予想されており、これらの関連メーカーをターゲットに営業活動を推進していく。

なお、現在は日本、韓国、台湾、中国等をマーケットとしているが、今後は北米、欧州、南米に加え東南アジアへの展開を予定している。



ロールフィルム貼合装置 12inch 対応 高速・高精度タイプ
Roll to Sheet Lamination Machine
High Accuracy, Speed and Quality
R2S-12S-V-CV



耐摩耗性の向上目的で製品の先端部分に超硬ロー付品の試作と円筒研削盤の導入

株式会社ジクヤ精工

■事業者の概要

連絡先	薩摩郡さつま町柏原 4965-25	代表者	代表取締役 軸屋 敏宏
電話番号	0996-59-8849	F A X	0996-59-8262
主な業種	機械製品製造業	U R L	http://www2.synapse.ne.jp/jikuya/

■実施した事業の内容と成果

弊社では、エンジンの部品として使用されるスパークプラグ製造過程のセラミック部分の粉末供給装置を製造しているが、円筒研削を外注に頼っていた。

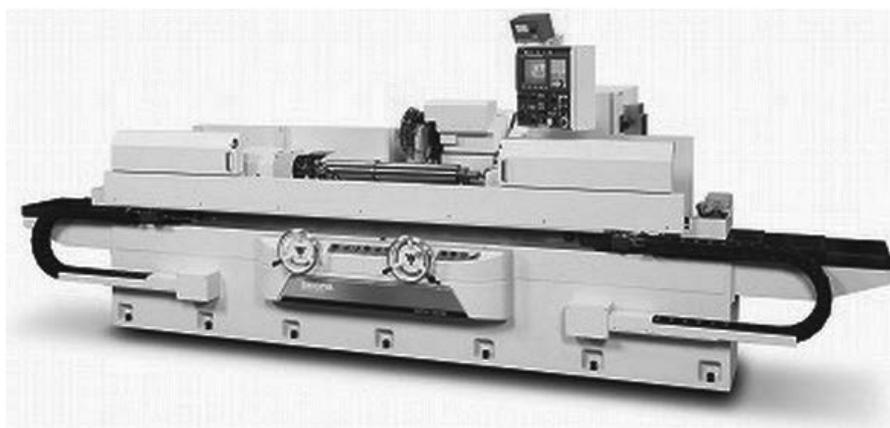
補助事業で、円筒研削盤を導入したことで円筒研削の内製化が可能になった。また、耐摩耗性を向上させる高品質な製品（超硬を先端部分にロー付けしたプラグの部品）の試作開発に取り組んだ。これにより課題であった量産化体制の構築とコストダウン及び短納期化が可能となった。

■事業化に向けての今後の取組み

円筒研削盤の導入により、外注していた工程を内製化することにより、技術の向上に加え、外注費用の削減と短納期を図ることができ、これにより、品質・価格・納期面での競争力の強化に繋がった。

主要な納入先である大手プラグメーカーが約 1.5 倍の増産を計画しており、今回の取り組みによりこれに対応するための技術及び安定した供給体制を構築することができた。

今後は、他の国内工場への営業活動を展開し、さらなる受注拡大を図っていく予定である。また、円筒研削盤は、九州内で保有している企業が少ないことから、新規顧客の獲得にも注力していく計画である。



円筒研削盤

レアメタル（タングステン・モリブデン・タンタル等）の 切削加工における加工条件を見出す為の試作開発

株式会社南光

■事業者の概要

連絡先	鹿児島市七ツ島 2-1	代表者	代表取締役 上田平 孝也
電話番号	099-261-3377	F A X	099-261-7848
主な業種	金属製品製造業	U R L	http://www.nankoh.jp/pc/

■実施した事業の内容と成果

レアメタルは材料自体の性質上、切削加工の方法が非常に難しく、加工の品質を保つには高度なノウハウが必要である。また、切削工具の消耗が激しいため価格に大きな影響を与える。

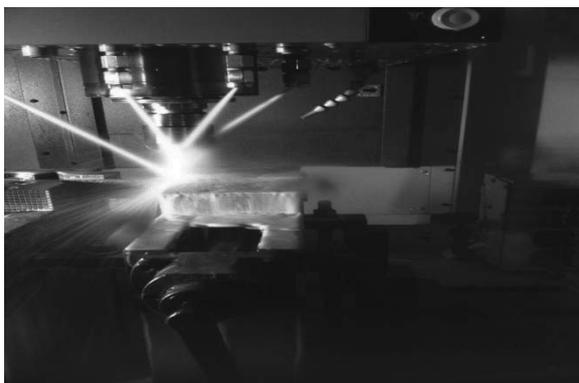
今回、補助事業によりレアメタルの切削加工における加工条件を見出すための試作開発に取り組んだ。

レアメタル（タングステン材）の加工方法を確立するために、新たな設備を導入し、スチールやステンレス材の加工方法と比較し、様々な条件で繰り返しテスト加工を行った。その結果、最適な切削条件を導き出すことに成功し、さらには加工時間の短縮も可能となった。

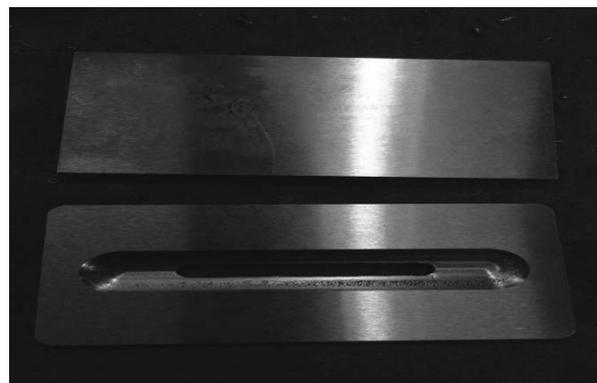
■事業化に向けての今後の取組み

レアメタルにおける切削加工技術を確立したことにより、安価でより高精度なものを作ることが可能になり、技術及び価格面での競争力強化を図ることができた。

今後は、新規分野での販路拡大に取り組み、平成 30 年度までに、レアメタル切削加工の加工高比率を全体の 16%まで引き上げる予定である。



タングステンのポケット加工



加工材料&ポケット加工製品

短期熟成技術の確立による芋焼酎の 生産効率化と品質の多様化

濱田酒造株式会社

■事業者の概要

連絡先	いちき串木野市西薩町 17-7	代表者	代表取締役 濱田 雄一郎
電話番号	0996-33-5222	F A X	0996-33-5811
主な業種	蒸留酒・混成酒製造業	U R L	http://www.hamadasyuzou.co.jp/

■実施した事業の内容と成果

芋焼酎の生産効率化と品質の多様化を目指し短期熟成技術の確立に取り組んだ。

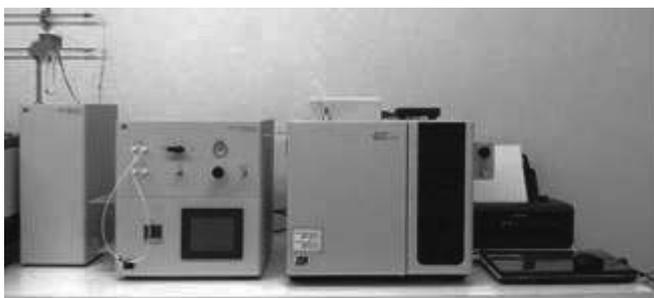
芋焼酎は蒸留直後に不快な臭気(ガス臭)を持つ。ガス臭は数ヵ月貯蔵することで揮散消失し、芋焼酎の香味は安定する。焼酎メーカーはガス臭を指標(官能評価)として、製品の出荷可能時期を決定している。このガス臭を低減、除去する短期熟成技術を確立させることができれば、短期間での熟成が可能となり、生産性と品質向上を図ることができる。これまで官能評価に頼っていたガス臭は、分析装置を導入することにより数値化(見える化)することができた。

また、発酵、蒸留条件など、各工程によるガス臭生成濃度を分析検証した結果、ガス臭生成要因が明らかになり、ガス臭を低減除去できる有効な方法を見出すことに成功した。

■事業化に向けての今後の取組み

当事業で確立した短期熟成技術をさらに向上させることにより、生産効率化と品質の多様化を図り、今後の厳しい市場環境に対応していきたい。

短期熟成技術を活用した試作品(芋焼酎)は、蒸留直後のガス臭成分濃度が少なく、香りはおだやか、味はまろやかでたいへん飲みやすい芋焼酎となった。これまで芋焼酎独特の香りに抵抗があった消費者や女性にも好まれる商品として期待できる。今後はマーケティング調査などを行い、コンセプトや商品仕様を決定し、市場へ投入、消費者の反応を見ながら、更なる改良を進めていく予定である。



ガス臭分析装置



小型蒸留装置

グランドピアノ並みのソフトペダル機能を有する 新型アップライトピアノの試作開発

有限会社藤井ピアノサービス

■事業者の概要

連絡先	薩摩川内市西向田町15-11	代表者	代表取締役 藤井 幸光
電話番号	0996-25-3320	F A X	0996-20-3990
主な業種	楽器製造業	U R L	http://www.fujiipianoservice.jp/

■実施した事業の内容と成果

ピアノにはグランドピアノとアップライトピアノ（縦型）の2つの種類があり、グランドピアノは連打が可能である点とソフトペダルの表現性で優れている。連打機能を有するアップライトピアノは既に開発していたが、もう一つの悲願だったグランドピアノと同じ方式のソフトペダル（ウナコルダペダル）を持つアップライトピアノの試作開発を行った。

試作品を全国12か所で展示し、演奏家や調律師、一般のお客様等に試弾して頂いたところ、好評を博し、グランドピアノと同等の機能を持つことを確認できた。

グランドピアノの機能が必要な演奏レベルに達している子供たちの能力を十分に引き出せる道具ができたことで将来への夢が大きく膨らむ。

■事業化に向けての今後の取組み

グランドピアノと同等の機能を持ったアップライトピアノは、高い性能を求めるユーザーにとって非常に興味深い製品である。試弾実施によるアンケート結果からも、市場のニーズは大きいと予想され、愛好家の間でも話題となっている。

今後は、販売網を広げるため、各地での展示試弾会に加え、東京ビッグサイトで開催される2014楽器フェア等への出展を予定している。また、海外展開も視野に入れ、海外向けのホームページやパンフレットの作成を予定している。海外からの問い合わせが多ければ訪問し普及に努める予定である。



ウナコルダペダル付アップライトピアノ



展示会の様子

量産化設備対応を目指した高精度YAGレーザー溶接ロボットシステムの構築

株式会社藤田ワークス

■事業者の概要

連絡先	霧島市国分上野原テクノパーク 12-18	代表者	代表取締役 藤田 幸二
電話番号	0995-46-6100	F A X	0995-46-7364
主な業種	金属製品製造業	U R L	http://www.fujitaworks.com/

■実施した事業の内容と成果

高精度 YAG レーザー溶接ロボットシステムの構築に取り組んだ。YAG 溶接システムによる溶接において、素材の熱影響による挙動に対する補正機能として、高精度トラッキング機構を採用し解決することが課題であった。そこで、①加工パラメータの確立、②加工サンプルの信頼性評価、③加工条件による生産性評価（コスト）を実施した。

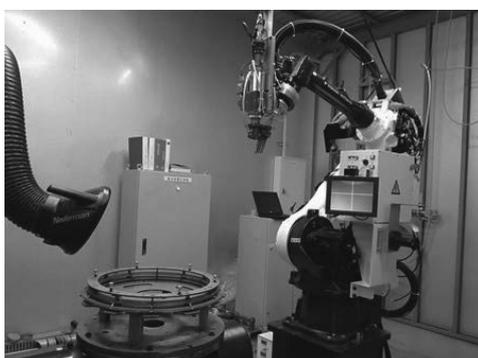
成果としては、トラッキング精度には満足できる部分があるものの、形状認識において材料特性や形状そのものの課題が明らかになった。現在は、メーカーと共同で解決への対応を実施中である。

■事業化に向けての今後の取組み

既存の3次元曲面溶接が可能な YAG レーザー溶接ロボットシステムに高精度トラッキング機能を付加し、複雑形状製品について量産時の生産性向上と高品質な製品を機械加工よりも低価格かつ短期間で提供することを目指す。

具体的には、多品種小ロット機械加工に対する新技術として参入する。

現状では、基礎技術を身に着けた段階なので、今後は LPF (Laser Path Fainder) 技術を高度に活用するためのノウハウの構築が応用技術へ拡大するために必須である。メーカーと良好な開発関係を築き、課題解決に取り組む予定である。



YAG 溶接ロボットシステムの全容



打ち合わせの様子(ドイツにて)

かつお本枯節を使用した ふりかけ（かつおでんぶ）の試作開発

有限会社山吉國澤百馬商店

■事業者の概要

連絡先	指宿市山川新栄町1番58	代表者	代表取締役 国沢 孝彦
電話番号	0993-34-2490	F A X	0993-34-0734
主な業種	食品製造業	U R L	http://www.hyakuma.co.jp

■実施した事業の内容と成果

かつお本枯節を使用したふりかけ（かつおでんぶ）の試作開発に取り組んだ。

保存料無添加で高品質の「かつおでんぶ」を製造するためには、原料であるかつお本枯節粉末の水分量や包装形態が課題となっている。そこで、風味と保存性の最適なバランスの「かつおでんぶ」の試作開発を目的に設備を導入し、素材の品質・風味を活かすために加熱ニーダーでの煮詰加工、粘性のある調味料の正確な計量及び酸化を防ぐ真空包装等の試行錯誤を繰り返すことにより、高品質な「かつおでんぶ」の開発に成功した。

■事業化に向けての今後の取組み

当プロジェクトの原材料は、発酵技術を活用して自社生産される「かつお本枯節」である。これは料亭等で使用されるかつお節の高級食材であり、その味や香りにおいて、荒節とは大きな差がある。当プロジェクトでは、この本枯節を使用した保存料無添加の高品質「かつおでんぶ」を開発した。

今後は、新しい味を添加した商品「鰹でんぶ」の販売に取り組んでいくが、本製品については、従来の製品と比べて、「高級食材」・「保存料無添加」という特徴があるため、一般的なふりかけとは異なる価格帯（1パック 324円）を設定し、発売したいと考えている。



品質が安定した薩摩本枯節の鰹でんぶ



真空ガス充填作業の様子

粉体供給機のコスト削減による競争力強化事業

株式会社ヨシカワ

■事業者の概要

連絡先	薩摩川内市港町 360 番地 31	代表者	代表取締役社長 吉川 修
電話番号	0996-26-3388	F A X	0996-26-3688
主な業種	一般産業用機械製作	U R L	http://www.yoshikawa-cf.co.jp

■実施した事業の内容と成果

弊社は、粉体供給機専門メーカーとして化学、食品、セメント、セラミック、環境分野等に販売実績があり、世界無二の技術を自負している。しかし、オーダーメイド仕様が多くのことから高価格となり納入先が高付加価値分野に限定される。この課題を解決するため溶接ロボット導入による生産の効率化（自動化・パーツ化）及び試作機による構造変更の検証により、他の製品との機能的優位性を保持しながら低廉化による競争力の強化を目指した。

溶接ロボットの導入により、製作及び組立時間について最大 36.3%の削減が可能となった。

今後は、溶接ロボットの使用範囲（ケーシング以外）を広げることで更なる工数削減が可能となり、また、部品の共通化、パーツ化を整備することで一層の工数削減が期待できる。

■事業化に向けての今後の取組み

本事業の成果により、コスト削減が実現し、アジア圏を含めた世界的な事業の展開が可能となった。今後の取組みとしては、海外への出荷比率を現状の 20%から 50%以上に引き上げることを目標に進めていく。

また、海外販売拠点（代理店）は、アジア圏含め現在 7 社であるが、来年度は 2~3 社増やし、海外での販売目標の達成に向けて事業を展開していく予定である。



導入した溶接ロボット



溶接ロボットで製造したサークルフィーダ

ビーコン・システム（位置情報・探索無線システム）の 設計、開発

株式会社YPK

■事業者の概要

連絡先	霧島市隼人町西光寺 2427 番地 31	代表者	代表取締役 遠藤 定義
電話番号	0995-43-4341	F A X	0995-44-8081
主な業種	電気機械器具製造業	U R L	http://ypk.yupiteru.co.jp/

■実施した事業の内容と成果

登山、トレッキング、山菜取り、スキー、災害時等において、遭難者・迷子者等を探索するためには、探索者は速やかな位置情報の取得が必要となる。弊社では、無線免許が不要で誰でも使える GPS(全地球位置測位システム)を搭載したビーコン・システム（位置情報・探索無線システム）の設計開発に取り組んだ。

ビーコン・システムは、探索される人がビーコン（発信機）を、探索する人が探索機（受信機）を携帯する必要があるため、小型軽量で防水性能に優れ、電池寿命や通信距離を満足させる製品でなくてはならない。

様々な条件下でテストを繰り返した結果、目標とするこれらの課題を 100%達成するビーコン及び探索機の開発に成功した。

■事業化に向けての今後の取組み

遭難者・迷子等の探索で使用するために社外の意見等も十分に取り入れ、さらなる改善に取り組んでいく。

また、今後はビーコン・システムの特長を広く PR し、販路の開拓に取り組んでいく予定である。



ビーコン



探索機

「特別寄稿」時代の風を読む

ネット活用による「建設業に特化したサービス提供」で鹿児島から全国展開

株式会社インターウェブ代表取締役 倉橋 利一 氏

時代の風を読み、将来に備えることはあらゆる事業者にとって重要なテーマであり、変化する顧客ニーズに的確に対応することが企業発展のポイントとなります。

本号では、ネット活用による建設業に特化したサービス提供で建設関連事業者の経営支援ビジネスに取り組む、「株式会社インターウェブ」の倉橋利一代表取締役にご寄稿いただきました。



《はじめに》

弊社は、富士ゼロックスの複合機をはじめとするOA機器やCADなどのシステム機器販売・メンテナンスサービス、建設業向けの製本・青焼き、写真現像・プリント及び文具・用紙等の販売を目的に創業しました。

しかし、時代の変化とともに、ネット通販の台頭や写真のデジタル化、建設業におけるペーパーレス化の流れ（これを総じてCALS/EC「キャルスイーシー」と言います。）など、アナログからデジタルへと業態を変化させながら現在に至っています。

《会社沿革》

平成 9年	2月	有限会社インターウェブ設立
平成12年	9月	株式会社インターウェブへ組織変更
平成13年	3月	九州初となる、電子納品作成アウトソーシング事業を開始
平成14年	1月	地方自治体や建設業、団体へのCALS/ECの教育研修を実施 熊本県建設技術センターの教育研修を独占受注
平成14年	7月	代表取締役会長に遠矢正文、代表取締役社長に倉橋利一就任
平成15年	6月	九州における展開強化のため、福岡支店開設 電子納品作成アウトソーシングビジネスのFC展開の開始
平成15年	7月	経営革新計画承認
平成16年	6月	全国展開の拠点として東京支店開設
平成17年	3月	熊本支店開設 経済産業省の「IT経営百選：IT活用賞」受賞
平成18年	12月	総合評価落札方式における、コンサルティング事業を開始
平成24年	4月	東北地域の強化に向け仙台オフィス開設

《弊社の経営理念》

我々は、お客様との感動を共有する会社です。

商品を提案する前に、熱意を持ってお客様に接し、感動をしてもらおう！

我々は、お客様へ情報と便利さを提供します。

自分の知識、人脈、情報をお客様に提供し、「業務改善・効率化」を提案しよう！

我々は、一人一人の物心両面の成長と、会社の発展を目指します。

お客様に喜ばれる仕事をしよう。それこそが社員・会社を強く、豊かにする！

《経営革新への取り組み》

会社設立後まもなく、建設業向けの「製本・青焼き・写真」等の分野では、鹿児島県内トップシェアの同業者との競争が激化し、熾烈な価格競争に悩まされました。

また、追い討ちをかけるように写真のデジタル化が進み、写真現像・プリント・フィルム販売などの写真関連ビジネスがことごとく大幅な減収となり、経営が非常に厳しくなりつつありました。

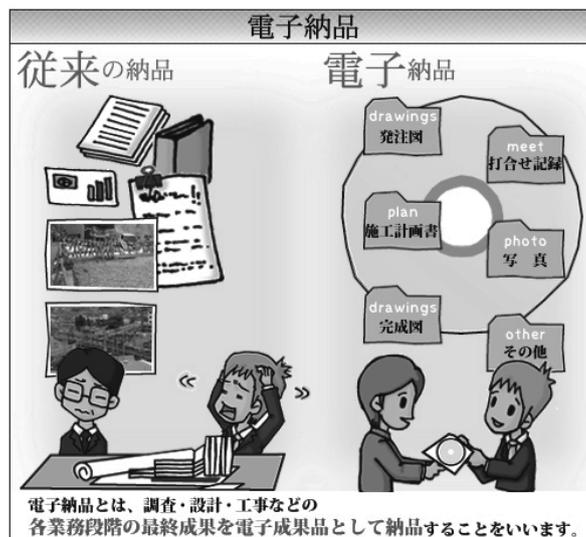
さらに、写真のみならず書類や図面までもがデジタル化されるという方針が国土交通省から打ち出され、今後は都道府県や市町村においてもそれを広げていくという、当社が得意としていた分野の将来性が崩壊する危機を感じました。

そのような中、鹿児島県内で国土交通省の「電子納品実証実験工事」を受注した某大手ゼネコン子会社から、「自社で電子納品を作成できないため外注したい。」との相談が入り、詳細を聞いたところ、「複写業の会社から全て断られ、貴社に最後の相談をした。」とのことでした。

既存ビジネスは減収減益であったことから、「他社が手がけられないほど難しいのであれば、このアウトソーシングビジネスに勝機があるのではないか？」と判断し、受託に至りました。



電子納品のCD（イメージ）



従来の紙納品と電子納品の違い

このアウトソーシング業務は、鹿児島県内のみならず九州各地においても競合が少なく、また特殊なノウハウが必要なこともあって噂が噂を呼び、多くのゼネコンからご依頼いただけるようになってきました。

従来の「紙のビジネス」に限界を感じていたこともあり、この事業をOA機器事業・複写事業の次の柱にすべく、第三の事業「CALS/EC」事業として経営革新計画を申請し、平成15年に承認を受け、現在では当事業が当社の大きな柱として成長しつづけます。

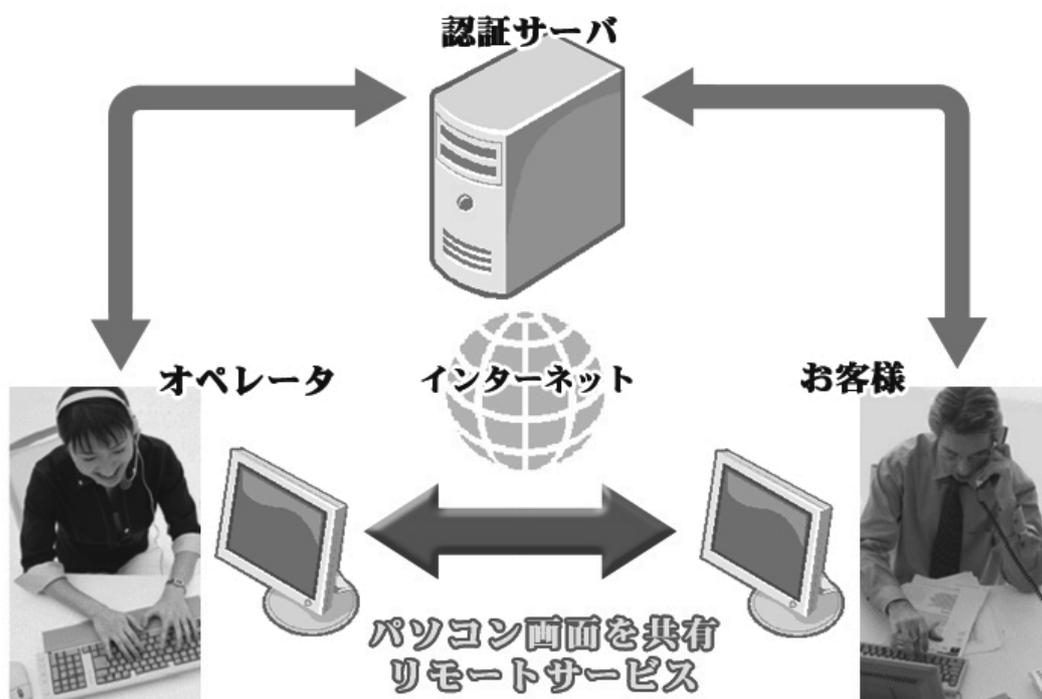
その後は、国土交通省のみならず、農林水産省や防衛省、都道府県、市町村に至るまでこの「電子納品」が普及し、現在まで順調に増え続ける中、昨年度は過去最高の受注実績を記録しました。

全国展開に伴って、営業活動のあり方も大きく変化させてきました。

どうしても全国展開となると、「営業マンがお伺いして説明をする」という、従来の方法では活動範囲が狭まれてしまいます。

従って、FAX-DMやメールDMによる新規顧客開拓や、テレセールスによるテレマーケティング活動、Webリモートサービスシステムを活用した商品説明、YouTubeへのサービス動画掲載など、とにかく「訪問せずに受注できる仕組み」を確立する必要が出てきました。

現在では鹿児島・九州の訪問可能なエリア以外については、ほぼ100%近くが訪問なしで受注できており、特に一度外注いただいたお客様については、「リピーター」となられる方も多く、ストックビジネスとなりつつあり、経営の安定化に寄与しております。



Webリモートサービスシステムのイメージ

ホームページ強化も重要な課題でした。

鹿児島県においては建設業以外の顧客も多く、一部の業種に特化しすぎると、OA機器やパソコン販売事業に興味があるお客様にとっては混乱を招く結果になっていたのです。

そのため、平成17年に建設業向けのホームページを別途作成しました。

また、2年前にはフェイスブックページも開設し、お客様へのタイムリーな情報発信を行っています。

さらに、建設業の方を中心に、メールマガジンの配信による弊社及び業界の情報発信も行っています。

《弊社ホームページ・フェイスブックページの紹介》



一般向けのホームページ



建設業向けホームページ



フェイスブックページ

《総合評価ソリューションサービスへの取組み》

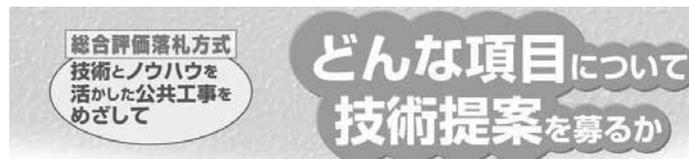
平成 17 年 4 月、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の施行に伴い、公共工事などの入札が大きな変化を迎え、電子納品の発注先である建設業の方々から、「公共工事を受注する支援をできないか？」という相談が増えてきました。いわゆる「総合評価落札方式」の導入です。

これにより、落札者の決定方法が価格で評価する方法から、価格とそれ以外の要素（品質）で評価する方法へと変わりました。

落札者は従来の価格勝負ではなく、価格に加えて価格以外の要素（品質）である「技術評価点」もしくは「過去の工事成績」を用いて算定する「評価値」という数値をもって決定される仕組みになったのです。

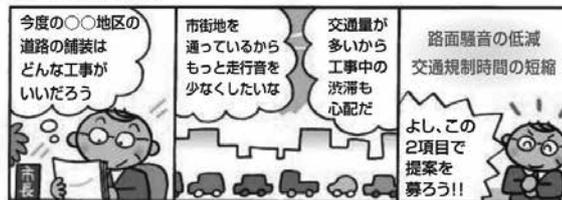
建設会社において、総合評価落札方式における技術提案力を高めることは、落札を有利に進めるだけでなく、本質的な技術力アップにつながります。そのため、施工における品質向上はもちろん、安全性向上や業務効率改善などにも有効です。これがコストダウンにつながり、利益にも貢献していきます。

こうして弊社は、受注競争力（技術力）アップの支援として、「総合評価ソリューションサービス」を展開するに至りました。



「発注者が評価する項目を選び、技術提案を募集します」

利用者や住民の方々に、より一層喜ばれる工事を目指して、民間企業などから技術提案を求め、その内容を価格とともに評価するのが総合評価落札方式の特徴です。発注者は、工事内容や周辺の状況に応じて、さまざまな評価項目を設定し、民間企業からの優れた技術提案を募ることができます。



技術提案の項目例



運用イメージ

工事成績アップのプロセスを管理するためのPDCAサイクル



工事成績を上げるためのPDCAサイクル

《セミナー・研修ビジネスへの取り組み》

弊社では建設業向け研修事業も実施しています。
当事業を確立するにあたっては、弊社を「建設業の研修支援企業」としてブランディングしていく必要性がありました。

当初は九州管内のみで建設技術者向けのセミナーを開催しておりましたが、ご好評をいただき、今日では日本全国で年間300回近く開催しており、受講者も延べ人数で毎年4,000人以上の方が弊社のセミナーを受講しておられます。



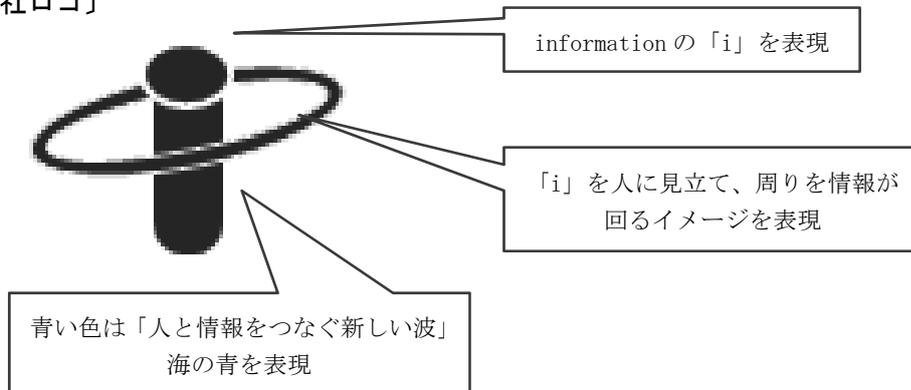
建設業向けCPDSセミナー受講風景

《これからの展開》

弊社は、「建設業に特化したワンストップサービスの提供」を経営方針に掲げており、建設業の方々の経営事項審査アップの支援から電子入札システムの導入・サポート、施工中の電子納品データ作成支援、情報化施工などのICT活用支援、工事成績アップ支援、電子納品成果品の代行作成と一貫して「建設業の方々の立場に立ったサポート業務」を目指してまいります。

建設業の方々に、「現場に集中できる環境づくり」を提供することで、日本中の建設業の方々のお役に立てればと思っています。

〔弊社ロゴ〕



《株式会社インターウェーブ》

- ◇代表者 代表取締役 倉橋 利一
- ◇主な事業 建設業向けの各種ソフトウェア・システムの販売（積算ソフト・CADソフト・電子納品ソフト）、富士ゼロックスの複合機販売、電子入札・電子納品の支援と代行作成、建設業向けの研修・セミナー事業
- ◇本社住所 〒890-0056 鹿児島市下荒田三丁目43番6号
TEL 099-206-3113 FAX 099-206-3115
一般向けHP <http://www.i-wave.co.jp/>
建設業向けHP <http://www.calsperfect.com/>
フェイスブックページ <https://www.facebook.com/kk.iwave>
電子メール info@i-wave.co.jp

第 66 回中小企業団体全国大会を東京都で開催

団結は力 見せよう組合の底力！

～組合で進めよう！中小企業の持続的発展～

平成 26 年 10 月 23 日、東京都の「日比谷公会堂」において『団結は力 見せよう組合の底力！～組合で進めよう！中小企業の持続的発展～』をキャッチフレーズに、第 66 回中小企業団体全国大会が開催され、宮沢経済産業大臣等の臨席の下、全国の中小企業者、団体関係者ら約 2,000 名が参加した。

主催者を代表し、鶴田欣也全国中央会会長が、「我が国経済は、緩やかな景気回復基調が続いており、政府は持続的な経済成長基調にのせるため、骨太の方針と新たな成長戦略を閣議決定し、さらに、地



域の経済や雇用を支える中小企業・小規模事業者の持続的な発展を図るための小規模企業振興基本法も成立した。第二次安倍改造内閣には実行実現内閣として、経済最優先でデフレ脱却と成長戦略の実行を期待する。電力・エネルギー価格高騰への対応や、地域産業の担い手の育成・確保など、山積する課題を克服するため極めて重要な時期を迎えている。中小企業・小規模事業者が積極果敢に事業革新や設備投資により生産性の向上を図るとともに、消費税増税分や仕入価格上昇分を適正に転嫁することにより、収益性の向上を図っていく必要がある。相互扶助の精神のもと、団結の力を再確認し、持続的は発展と豊かな地域社会の実現を図るための施策の強力な推進を、政府を始めとする関係各方面に全力で働きかけるよう努力していく所存である。」と挨拶を行った。

議事では、議長に全国中央会の鶴田会長が、副議長に全国中央会の蝦名文昭副会長と沖縄県中央会の津波古勝三会長が選出され、「実感ある景気回復と中小企業・小規模事業者の持続的発展」並びに「地域を支える中小企業の活力強化」を具体化するための中小企業対策の拡充に関する 13 項目について、満場の賛同を得て決議案が採択された。

また、全国中央会の尾池一仁副会長より、各項目に関する意見発表が行われた。

大会スローガン

1. 実感ある景気回復と地域活性化の実現
2. 東日本大震災被災地の産業・雇用基盤の整備加速
3. 連携・組織化支援政策の強化
4. 中小企業・小規模事業者の活性化税制の拡充

引き続き行われた表彰式では、優良組合 32 組合、組合功労者 74 名、中央会優秀専従者 29 名に表彰状が授与された。

続いて、全国中小企業青年中央会の佐藤康会長が、組合の原点である団結の力を活かして、中小企業・小規模事業者の未来を自ら切り拓き、地方創生の実現に向けてたゆまぬ努力を重ねることを誓うとした「大会宣言」を高らかに宣言し、満場の拍手の下、採択された。

最後に、次回の全国大会開催地が沖縄県に決定（平成 27 年 11 月 20 日（金）沖縄コンベンションセンターにて開催）し、大会旗が継承されて大会は閉会した。



なお、大会終了後に開催した「全国中小企業団体代表者の集い」では、鶴田会長から、安倍晋三内閣総理大臣をはじめ宮沢洋一経済産業大臣、甘利明経済再生担当大臣、高市早苗総務大臣、塩崎恭久厚生労働大臣、望月義夫環境大臣など多数の閣僚・政府関係者に大会決議を要望しました。

全国大会で表彰された本県関係被表彰者は次の方々です。おめでとうございます。

【組合功労者】

下園 廣一 氏

（南九州産業団地協同組合 理事長）

（鹿児島県中小企業団体中央会 副会長）

山崎 洋 氏

（鹿児島県防水工事業協同組合 理事長）

【中央会優秀事務局専従者】

福山 賢志（総務企画課 課長）



「かごんまわっぜかフェスタ'14」を開催 ～中央会青年部会が業界をPR～

中央会青年部会（有川裕幸会長）が主催する恒例の「かごんまわっぜかフェスタ'14」が10月26日（日）、鹿児島市天文館の「天神おつきや商店街（愛称ぴらもーる）」で開催された。

今年で12回目となり、アーケード内に開設した9つのブースでは、展示や体験等を通じて、業界の技術やサービスを周知し、多くの人々に各業界の活動について知ってもらう機会となった。

①南日本新聞南伸会



②本場大島紬織物(協)青年部



③鹿児島県印刷(工)黎明さつま



④鹿児島市中央卸売市場青果食品(協)青年部



⑤鹿児島県建設業青年部会



⑥鹿児島県川辺仏壇(協)青年部



⑦鹿児島県板硝子商工(協)青年部



⑧鹿児島県タイル工業(協)青壮年部



⑨鹿児島県中小企業団体中央会



〔各ブースの出店内容〕

- ① メモリアル新聞の作成、新聞製作工程パネル展示、主読紙の配布
- ② 大島紬羽織り試着、小物類の展示、製造工程タペリスト展示
- ③ 簡易印刷デモ、特殊印刷物の展示
- ④ 青果物の展示説明、試食によるPR
- ⑤ 災害模型実演体験、ミニ重機・2トンダンプ写真撮影、パネル展示、PR紙の配布
- ⑥ 仏壇工芸品の紹介展示、木工パズル作成体験、金箔押し、蒔絵作成体験
- ⑦ エコガラス・ガラスフィルム・内窓等の節電省エネ商品の展示、万華鏡の作成
- ⑧ アートタイル作成・展示、モザイクタイルを使用したコースターの作成体験
- ⑨ 中央会コーナー（組合設立や各種補助金案内）

●地域別交流懇談会（熊毛地区）を開催

10月9日、西之表市の「種子島あらしホテル」で、熊毛地区の組合員の連携交流と地域経済の活性化を支援することを目的に、地域別交流懇談会を開催した。

最初に行われた研究会では、経営革新計画の承認を受けた株式会社小田壘商会営業課長の小田伸氏を講師に、「わが社における経営革新への取り組み～新開発した『洗える畳』の生産と販路開拓～」をテーマに事例紹介が行われた。小田氏は経営革新計画策定に取り組んだきっかけのほか、目標・計画が明確なことで社内に活気が生まれたこと等、経営革新計画承認によって得られた効果について述べた。



引き続き意見交換を行い、組合や行政・地域経済団体の出席者が業界及び地域経済の状況を報告し、本会が鹿児島県オーストリッチ事業協同組合の経営革新計画の支援について説明した。

●地域資源を活用した地域活性化策を探る研究会を開催

10月30日、南九州市の「ちらん夢郷館」で、地域の中小企業者（木材、川辺仏壇、食品製造業等）を対象に異業種間連携研究会を開催した。

「地域資源を活用した地域活性化策」と題し、九州共立大学総合研究所の牧角龍憲氏が基調講演を行った。

牧角氏は「南九州市には、年間約80万人の観光客があり人を引きつけるものがある。今春上映された「永遠のゼロ」の観客動員数が700万人を超えるなど、新たな仕掛けを試みる絶好の機会である。また、知覧特攻平和会館は極めて大きな誘因的存在であり、地域資源としての位置づけが重要である。地域の定住人口が減少する中、各種サービスを効率的に提供するためには集約化が不可欠である。若い女性はパワースポットを求めており、名物ではなく都会にもあるが味が違って美味しいものに興味を持つ。ターゲットを絞り、利用者の視点から情報発信をすることが大切である。」と述べた。



引き続き、牧角氏を座長に意見交換を行い、出席者が、観光客をどう受け止めるか、人口減少問題への対応や集約化に向けての方策等について意見を述べ、地域活性化に異業種間連携で取り組む意義や重要性を再確認した。

※中央会では、組合及び地域活性化のため、研究会等への支援を実施してまいりますのでご活用ください。

株式会社ハラダ精工 経営革新計画承認

全国の特徴あふれる素材から天然香料を抽出する
廉価なオーダーメイド型高性能水蒸気法抽出装置の製造及び販売

このたび、株式会社ハラダ精工（鹿児島市）が、中央会の経営革新計画承認申請に関する支援により、平成 26 年 10 月 22 日付けで鹿児島県知事から経営革新計画の承認を受けました。

同社は、創業以来培ってきた精密加工技術と、設計から加工、組立、メンテナンスまで自社で完結できる強みを活かして、地域性豊かな様々な素材からアロマ等を抽出する高性能水蒸気蒸留法抽出装置の開発に取り組んできましたが、中央会から経営革新計画承認制度やそのメリット等について情報提供を受けたことをきっかけに承認申請にチャレンジしました。

同社のこれまでの取り組みや経営革新計画承認までの経緯等について紹介します。

創業以来の取り組み内容

昭和 51 年に原田秀一氏が創業し、当初は大手メーカーの 100% 下請企業として、旋盤 1 台で加工を行っていたが、技術力の向上により精密金属加工等、幅広く手掛けるようになった。

昭和 59 年に法人化、平成 2 年には株式会社に組織変更し、その頃よりこれまで培った高い技術力を活かして、設計から加工・組み立てまで一貫した生産体制を構築し、下請以外にも顧客の多様なニーズに的確に対応できる企業へと成長した。

平成 18 年に東和良氏が社長就任後は、大手メーカーから、自動車、医療機器、農業機械等の各種部品製造を受注するとともに、若手従業員とアイデアを出し合い、オリジナル看板、門扉やポストなど世界に一つしかないオリジナル商品の開発に挑戦するようになった。



世界に一つだけのオリジナルポスト

開発に取り組んだきっかけと具体的な経営革新計画の内容

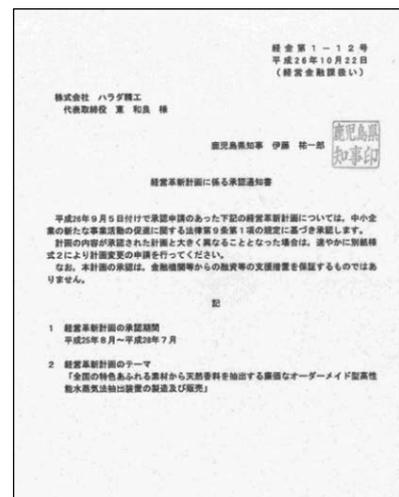
平成 24 年春頃、たまたまホームページを閲覧した屋久島町のアロマ製造販売業者から、地域の素材に適した「アロマ抽出機」の開発について引き合いがあった。東社長は、市場に少数しか存在しないアロマ抽出機に興味を持ち、アロマに関する徹底的な研究に取り組んだ。開発に際しては、「ものづくり補助金」に採択されたことも大きな追い風となり、試行錯誤を繰り返し、設計の見直しや冷却過程の改良等を経て、生成するアロマの生産向上、小型化、納期短縮、コスト削減等に成功し、製品化の目処をつけることができた。

全国では数社がアロマ抽出機を製造しているが、多くが画一的な設計がなされた製品である。そこで、同社では高い技術力を活かし、各地の名水や名木等の特質に合わせたオーダーメイド機を受注生産することで他社との差別化を図ることにした。

このような折、中央会から経営革新計画の承認制度等の紹介を受け、即座にチャレンジする決心を固めた。

まず、課題分析から始め、県経営金融課から今後の事業展開に向けて有益なアドバイスを受け、中央会から目標の数値化等、繰り返し支援を受けたことで、円滑な申請及び承認に至った。

今回、経営革新計画の承認申請を通じて、新規事業に際して漠然と描いていたビジネスプランを綿密に文書化できたこと、また、苦楽を共にしてきた従業員との間にさらなる一体感が醸成されたことが大きな収穫であり、今後の事業展開に向けて自信を深めることになった。



今後の展開と抱負

公益社団法人日本アロマ環境協会が平成24年に実施した調査によると、アロマの国内市場規模は約2,654億円と推計されている。また、化粧品メーカー等によって「アロマ」を付加価値とした製品が多数販売されており、市場の活況は長期的に継続するものと考えられる。

今後は、全国のアロマ製品小売店等が地域素材を活かしたオリジナル商品を製造できるよう、小型・低価格製品の開発を進め、新たな市場を開拓していく予定である。

また、天然香料へのニーズが高まっている菓子メーカー等にも積極的な営業活動を行う等、本装置を活用した市場開拓に従業員一丸となって取り組んでいく計画である。



完成した高性能なオーダーメイド型天然香料抽出機



従業員の皆さん（前列左から3番目が東社長）

《株式会社ハラダ精工》

◇代表者 代表取締役 東 和良

◇業種 金属製品製造業

◇従業員数 22人

◇所在地 鹿児島市西俣町1307番地の2

TEL 099-298-3520

HP <http://www.harada-seikou.com/>

鹿児島県の最低賃金が改定されました！

本県の最低賃金が、平成26年10月19日より、時間額678円に改定されました。
賃金が最低賃金以上になっているか確認が必要です。

【地域別最低賃金】

適用範囲	時間額	効力発生日
県下すべての労働者に適用されます。 ※ただし、特定（産業別）最低賃金の産業に該当する場合は、当該最低賃金も適用されます。	678円	平成26年 10月19日

【特定（産業別）最低賃金】 ※今後の金額については審議中

産業名	時間額	効力発生日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具 情報通信機械器具製造業	710円	平成25年 12月28日
百貨店、総合スーパー	685円	平成25年 12月28日
自動車（新車）小売業	735円	平成25年 12月27日

■最低賃金は、臨時、パート、アルバイトなどすべての労働者に適用され、使用者は労働者に対して最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。

■最低賃金には、次の賃金は算入されません。

- ① 臨時に支払われる賃金（結婚手当など）
- ② 一月を超える期間ごとに支払われる賃金（賞与など）
- ③ 時間外・休日・深夜労働に対する割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

《最低賃金に関するお問い合わせ先》

鹿児島労働局賃金室	099-223-8278
鹿児島労働基準監督署	099-214-9175
川内労働基準監督署	0996-22-3225
鹿屋労働基準監督署	0994-43-3385
加治木労働基準監督署	0995-63-2035
名瀬労働基準監督署	0997-52-0574

中小企業事業主向け 最低賃金 ワン・ストップ[®]無料相談実施中！

鹿児島県最低賃金総合相談センター

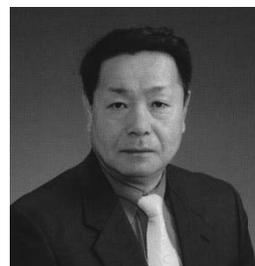
鹿児島市下荒田 3-44-18（県社会保険労務士会内）
TEL 099-257-4823

組合インタビュー

～森林資源の有効活用で、未来のきれいな水と空気を作ります～

鹿児島県バイオフィレスト事業協同組合 理事長 上村 清俊 氏

鹿児島県バイオフィレスト事業協同組合の上村清俊理事長にお話を伺いました。



➤ 組合設立の背景について教えてください

建設業を取り巻く経営環境は厳しく、公共事業のみに頼っていき残りが厳しい状況にあります。一方、山林は収益性の低下や林業従事者の減少もあり、適切な間伐が行われず荒廃が進んでおり、防災面でも問題が指摘される状況にあります。

そこで、我々建設業者が整備を受注し、生じた伐採木を販売することで、森林資源を有効に活用した事業の展開を目指し、平成23年10月に設立しました。

➤ 組合事業の内容は

当組合では、森林整備に係る作業路の開設及び伐採等の共同受注事業を実施しております。整備で生じた伐採木は、所有者の依頼で市場に搬出して販売し、これまで捨てられていた枝葉は薪等に加工することで需要者に提供しております。

また、教育情報提供事業では、事故防止を目的とした研修会の開催や、視察研修により先進地の取り組みからヒントを得ています。

➤ 最近の組合を取り巻く状況

おかげさまで組合事業は順調に推移しており、本年度は、県の森林環境税関係事業等により、鹿児島市及び始良市において整備事業に取り組む予定であります。

また、先般、鹿児島信用金庫様よりかしん創業プラン大賞「奨励賞」をいただきました。これは、森林資源を有効活用する組合事業が新しいビジネスモデルとして評価された結果であり、組合員の励みになっております。

➤ 今後の抱負

鹿児島市では地積が未確定なため、境界がはっきりしないなど所有者との交渉に支障が生じております。今後、森林整備を円滑に推進し、資源を有効活用するためには、行政において地積の整備を早急に進めていただく必要があります。

また、新しい動きとしてバイオマス燃料が注目されておりますが、ボイラー等の燃料に間伐材等を使用することで温暖化防止に繋がります。当組合では、薪等の需要先の開拓に取り組み、バイオマス資源の有効活用を通じ環境保全に貢献していく所存です。



森林整備に係る作業路開設

〔組合の概要〕

- ◇代表者 代表理事 上村清俊
- ◇組合員数 14人（平成26年3月31日現在）
- ◇主たる事業 共同受注、共同販売、共同加工、教育情報提供事業
- ◇組合員資格 建設業を行う事業者
- ◇連絡先 鹿児島市南栄4-1-1 Tel 099-203-0810 fax 099-208-0710

第8回 「理事会の代理出席の可否」について



ある理事から、今後は後継者である息子を理事会に代理出席させたいとの申し出がありました。青年部活動にも熱心に取り組む方なので、承諾しても構わないでしょうか。



はい！お答えします！

- ◆ 組合の理事は、個人的信頼に基づき選任されています。
- ◆ 加えて、組合と理事は委任によって成り立っている（中小企業等協同組合法第35条の3）ため、その権利の行使及び義務の履行は、理事自らの意志及び行為として行われるべきものです。
- ◆ また、同法第36条の6第2項において、「組合は、定款に定めるところにより、理事が書面又は電磁的方法により理事会の議決に加わることができるものとすることができる。」と規定する反対解釈からも、理事は代理人をもって議決に参加することはできません。
- ◆ なお、理事会の了承が得られれば、議決権・発言権を持たないオブザーバーとして出席することは可能です。



詳しいことは、中央会の担当指導員に聞いてほしいぶ～

Never Give Up! 元気を出そう! がんばれ中小企業

元気・明るく・幸せに! 女性のきれいづくりに奉仕する

有限会社美顔のクキタ 代表取締役 久木田 弘 氏

日本経済は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げの駆け込み需要の反動の長期化や燃料コスト上昇の影響等、今後の動向から目が離せない状況にあります。

また、中小小売業者を取り巻く環境は、大型店等の進出、購買機会の多様化、人口減少や消費者ニーズの変化等により厳しい状況が続いています。

こうした中、鹿屋市の鹿屋本町一番商店街で「美肌工房クキタ」を営む有限会社美顔のクキタ代表取締役の久木田弘氏にお話を伺いました。



I 会社の歴史と概要

当社の歴史は、昭和 28 年 12 月に祖母が「久木田アクセサリー」を現在の場所に開業したことに始まります。当時は、主にアクセサリーとバックを扱っておりました。

私は県外の工作機械メーカーで設計の仕事をしておりましたが、昭和 53 年 6 月に鹿屋に戻り、既に化粧品専門店になっていた当店を継ぎました。平成 5 年 6 月には「有限会社美顔のクキタ」として法人化し、現在に至っております。

当社関連グループとしては、「美肌工房クキタ」（化粧品販売・エステ）、「カシニョール」（婦人服販売）、「トータルコーティング九州」（床・ガラス等のコーティング）があり、それぞれ地域に根ざした営業を行っております。



II 業界を取り巻く環境

➤ 規制緩和の影響

ご承知のとおり、化粧品業界は長年にわたり規制（再販制度）により保護されてきました。最盛期には鹿屋市内にも 20 店を超える化粧品店が営業しておりました。しかし、規制緩和により大型店やディスカウント店が化粧品を取り扱うようになり、地方都市においても熾烈な価格競争が展開され、多くの化粧品店が淘汰され閉店していきました。

Ⅲ 当社の取り組み

➤ 専門店だからできること

中小企業が大型店に価格で対抗することは困難です。我々のような小規模店舗が生き残るためにどうすれば良いか、消費者が求めているものは何かを模索しました。

お肌について相談できるのは実は皮膚科ぐらいしかないので、お客様が気軽にスキンケアについて相談でき、美への願望に応じる場所が必要なのではないかと、お客様と信頼関係を築き、肌を守る方法を教え、適切な商品の提案ができる専門店を目指すことが生き残りの条件であるとの結論に至りました。

➤ 経営革新に取り組んだきっかけと効果

大型店やディスカウント店の台頭、ネットショッピングの普及もあり、新規顧客の獲得が厳しくなりました。生き残りのため新たなビジネスを探る中で、多くの女性がエステ体験の願望はあるが、料金が高く、また、お店の敷居も高いことから二の足を踏んでいることがわかり、その壁を打ち破ることはできないか、消費者が求めるものをもっと手軽に提供できないか、そこにビジネスチャンスがあるのではと考え、平成24年に経営革新計画を申請し認定を受けました。

「美肌工房クキタ」は手ごろな価格で週一の頻度で気軽に来店できるエステサロンとして、お客様に合った化粧品の使い方やメイク方法をお教えることで、お客様に満足していただける店を目指しております。

ご来店いただき美意識を高めることで、表情や振る舞いに優しさ・明るさが溢れ、家庭の円満にもつながったとの嬉しい声をお聞きます。女性が「元気・明るく・幸せに！」これが私どもの願いです。

また、地元企業は地域の雇用を創出し維持していくことが務めです。計画認定以前は2名だった従業員は、現在では5名に増えました。



➤ 新たな技術と美の追求

エステ業界の進歩は目覚ましく、新しい技術や関連機器が次々と開発されています。例えば、最近導入したエレクトロポレーションは、電気力で注射せずに、ヒアルロン酸やコラーゲン等を肌に無傷・無痛で注入することができます。

このような技術や機器は、お客様にとって美の向上だけではなく、安全で快適なものなくてはなりません。

今後も、最新の情報を収集し、社員教育を徹底することで、正しい知識と技術による美と健康の提供に努めてまいります。

IV 今後の取り組み

➤ 商業振興のために

現在、鹿屋本町一番商店街振興組合の理事長を務めております。当組合に限らず地元商店街では来街者が減っており、組織を維持していくのが難しい状況にあります。

しかし、今日まで営業してきたお店は何らかの強みや魅力によって生き残ってきた店であり、固定化したお客様がおられます。このようなお客様の回遊性を高めることが地域商業の活性化には不可欠です。商店街や通り会の枠を超え、地域の専門店がコラボすることにより地方再生の道を探っていければと考えております。

➤ 最後に一言

現在は、化粧品の購入や美容に関する情報を得るためには様々な選択肢があります。

しかし、実際にお客様の肌を見てアドバイスすることはインターネットでは不可能です。個人毎の肌に携わる強度や手順などを事細かくお教えすることは専門店にしかできません。

女性の美に対する感心は尽きることなく続いていきます。クキタではこれからも美への追求を続け、お客様に満足を提供してまいります。

クキタの経営理念

私たちは、女性のきれいづくりに奉仕して、クキタに来られたお客様が元気に、明るく、幸せになるように接客し、地域になくてはならない店にする。

社 是

明朗・喜動・愛和

《有限会社美顔のクキタ》

- ◇創 業 昭和 28 年 12 月
- ◇資本金 3,000,000 円
- ◇事業概要 化粧品販売・エステ
- ◇代表者 代表取締役 久木田 弘
- ◇所在地 〒893-1206 鹿屋市本町 4 番 8 号
- ◇連絡先 TEL 0994-43-1110 FAX 0994-43-1891



鹿児島県内の業界情報

(平成26年9月情報連絡員報告)

製造業

味噌醤油製造業

低調だった8月に比べ何とか持ち直したものの、動きはまだ鈍い状態が続いている。為替の円安傾向は収まらず原材料高は続いており、先行き不透明な状況は変わっていない。

酒類製造業

(平成26年8月分データ。単位k0・%)			
区分	H25. 8	H26. 8	前年同月比
製成数量	6,263.3	6,055.0	96.7
移出数量	県内課税	4,441.8	4,944.9
	県外課税	5,206.5	4,103.6
	県外未納税	3,303.6	2,822.7
在庫数量	192,760.0	210,568.3	109.2

漬物製造業

各社とも原料不足で製造量を調整している。

蒲鉾製造業

中国地方の大雨・台風接近等で、昨年より旅行者が少なく、特に空港売店などの売上が伸びなかった。その結果、9月は全体でマイナス2%となった。原材料は、安いすり身が高値で推移し、高いすり身は昨年と同程度の相場となっている。

錠剤製造業

原料の生値は150円～160円/kgで推移しており、前年同月よりも20円/kg程安くなっている。しかし、末端の商品消費が思うように伸びず、業況はまだ回復していない状況である。

菓子製造業

消費税に関しては少し落ち着いてきたようだが、県外のチェーン店が各地に参入しており、小規模店にとっては厳しい状況となっている。

本場大島紬織物製造業

9月の生産反数は、454反で対前年同月比91.2%であった。

木材・木製品製造業

原木丸太の市況が、スギとヒノキが同一単価とまではいかないまでも変化しつつある。特に12～18cm材が不足していることから、製材所もその確保に奔走している。一方、製品価格もそのあおりを受けてジリ高となっているが、需要が伸びず小口の当用買いの様相となっている。これからの本格的な秋の需要期に、原木・製材製品共に様々な思惑が交錯し、先行き不透明な状況となっている。

木材・木製品製造業

秋の需要期を迎えて、製品市況の活況が期待されるが、さすがに昨年のような動きは見られない。これを鑑みるに、消費税増税前の駆け込み需要で先食いの影響が長引き、秋になっても住宅着工の回復に結びついていないことが予想される。ただ、徐々に忙しくなってきたとの組合員からの声も聞いている。また、9月30日をもって木材利用ポイント制

度の発行対象となる工事の着手期間が終了したため、今後業界は、現状をよく分析しつつ、先を見据えた経営を目指すことが大事と思われる。

生コンクリート製造業

出荷量は158,868立米で対前年同月比102.5%であった。特に減少した地域は鹿児島・串木野・川薩・垂水桜島・南隅・種子島・奄美大島、特に増加した地域は出水・姶良伊佐・大隅・屋久島・奄美南部・甕島・沖永良部であった。官公需については、ようやく発注が順調に軌道に乗った感があるが、民需については消費税アップの反動が、大きく影響している状況である。

コンクリート製品製造業

9月度の出荷トン数は11,167トンで、対前年同月比93%となった。県内全体的に出荷トン数が減少しており、特に熊毛地区においては対前年同月比34%となっている。9月度の受注も芳しくなく、非常に厳しい状況である。

量製造業

円安により原材料の値上がりが続いている。

印刷業

印刷業界の全国大会が、今年の10月に京都で開催される。この様な逆風のときこそ業界が一致団結し、セミナーやコンペティションを開催することに大きな意義がある。9月は、印刷の月と銘打っての活動も各所で行われた。地域社会へのアピールにもなるので、連綿と続けていかななくてはならない。

非製造業

卸売業

9月の景況は、先月に引き続き悪化している。前年と比べて、天候不順という単純な理由ではなく、全体として、消費そのものが縮小・後退しているような感じである。消費税の引上げについては、追加の景気刺激策を前提に、肯定的な意見も出ている。

燃料小売業

仕入価格の高騰により販売価格は上昇し、それに伴って売上高は増加している。ただ、取引条件は変わらないため、収益状況に大きな変化は見られない。人口の自然減、他エネルギーへの転換等から業界全体としてはマイナス軸の感が強い。

青果小売業

9月は対前月比102.4%、対前年同月比101.1%であった。

農業機械小売業

今年は日照不足で、10月に入っても刈り取りが遅れている地域が見受けられるが、ハーベスタ(稲刈り機)の排ガス対応機が改善され、ヒット商品となっている。

石油販売業

世界的な石油需要低迷から、石油価格は下げ基調で推移したものの、為替は円安が進み石油コストの大幅な動きはなかった。一方、小売価格は、天候不順等による不況が続いたことから下げ基調に推移した。このため収益状況は、更に厳しさを増している。

鮮魚小売業

魚類市場の再整備設計計画が始まり、平成 26 年 10 月から平成 27 年 6 月末にかけて仮設工事が行われる。新市場棟は平成 32 年に完成予定である。売場は、空調設備・庇・ドックシェルターを備えた出入口になり、温度管理・衛生管理を徹底した閉鎖式設備として計画している。新市場は、取扱商品の鮮度や高い安全性の維持を目指している。

商店街（霧島市）

商店街の 9 月の売上状況は減少傾向であった。地域商店街活性化事業を活用した、国分中心商店街賑わい創出事業の 3 回目のメニューとして、「国分まちゼミ」に向けた最終研修会を開催し無事に終えることができた。10 月 28 日から開催するまちゼミについては、21 事業所から 30 メニューの企画があった。初めての開催ということもあり、どのような結果になるか楽しみでもあるが、これを毎年継続して実施し、個店の接客に役立つような、ファン作りに繋げていければと思う。

商店街（薩摩川内市）

商店街だけでなく、大型店についても売上は良くないようである。

商店街（鹿児島市/天文館地区）

来街者の減少傾向が続いている。9 月末には、アミュプラザの増床によるリニューアルオープンも重なり、天文館地区全体でも静観の様子で、減少の歯止めとはならなかった。来月からは、諸物価の値上がりもあるようなので、商店街全体としても何らかの手立てが必要である。

商店街（鹿児島市/鹿児島中央駅地区）

物販店は依然として不景気のままである。

サービス業（旅館業/県内）

9 月の宿泊客数は、中旬の連休期間はやや好調だったが、それ以外は前年同月比でやや減少している傾向にある。前年並みか微減の組合員が多いようである。規模の大きめなホテル等では、婚礼等を含めた宴会が振るわず、12 月の忘年会等の予約についても苦戦している状況である。

美容業

9 月は比較的閑散期である。業界ではイベントや検定試験など実施されることが多い時期なので、従業員の意識向上につなげる機会として参加している。

旅行業

秋の行楽シーズンに入り、販売額の増加を見込んでいたが、台風や多雨等の天候の影響により、伸び悩む結果となった。相対的に旅行者数は増加したが、販売額は組合員によってばらつきがあり、全体的には微増（対前年同月比 103.3%）であった。

建築設計業

県や市から公共工事が発注されているが、既に多数の業務を抱え辞退する事務所が出てきた。民間事業も多く発注され、技術者を雇用したいが即戦力となる資格所有技術者の不足により、工事着工が遅延する傾向にある。

自動車分解整備・車体整備業

消費税増税から半年経過したが、9 月になり時々忙しい日ができるようになってきた。しかし、継続的ではないため、回復しているとは言えない状況が続いている。

電気工事業

官庁工事は県・市から発注が出ているが、不調の物件も見受けられる。原因は技術者（管理者）の不足もあるが、積算の金額が合わない物件もある。太陽光発電設備の物件では、九州電力の申請保留の件が浮上しているため、施工においては動揺が広がっている。

造園工事業

公共工事への依存度が高い業界であるが、この時期新たな公共工事は出てこなかった。10 月は入札が出てくる時期なので、受注した組合員は売上増加につながってくる。ただ、工事単価が上昇したにも関わらず、利益の少ない業務が続いている状況である。

建設業（鹿児島市）

公共工事の発注件数が減少している。

建設業（曾於市）

8 月、9 月曾於市土木部の公共工事入札が 1 件もなく、組合員は資金繰りと雇用の継続が大変な状況になっている。

貨物自動車運送業

9 月に入り、燃料価格は円安の影響で下がり幅は非常に厳しかった。また、秋の全国交通安全運動が実施され「子供と高齢者の交通事故防止」「飲酒運転の根絶」などの PR に積極的に取り組んだ。

運輸業（個人タクシー）

夏休みも終わり、平常時のお客様の利用状態となっている。他業界と同様に、県内のタクシー業界においても、アベノミクス効果を期待している。

倉庫業

加工用、飼料用ともに輸入量及び消費量は平年並みで推移している。

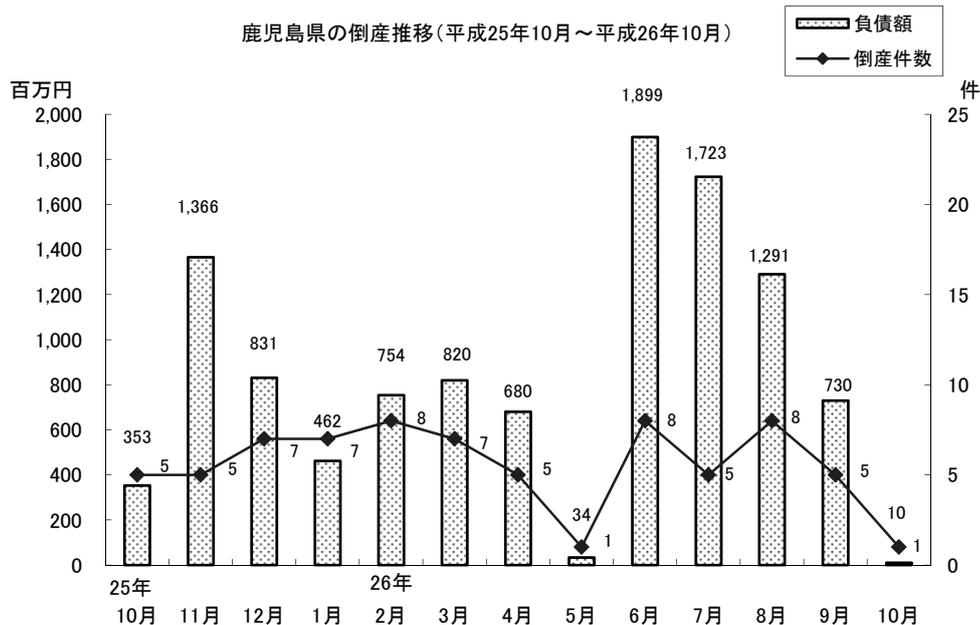
平成 26 年 10 月 鹿児島県内企業倒産概況

(負債額 1,000 万円以上・法的整理のみ)

(株)帝国データバンク 鹿児島支店

件数 1 件 負債総額 1,000 万円

〔件数〕 前年同月比 4 件減 〔負債総額〕 前年同月比 80.0%減



【概要】

平成 26 年 10 月の鹿児島県内の企業倒産（負債額 1,000 万円以上・法的整理）は、件数で 1 件（前月比 80.0%減、前年同月比 80.0%減）、負債総額は 1,000 万円（前月比 98.6%減、7 億 2,000 万円減、前年同月比 97.2%減、3 億 4,300 万円減）となった。

【各要因別】

- ・業種別では、小売業 1 件
- ・主因別では、販売不振 1 件
- ・資本金では、個人 1 件
- ・負債額では、1,000 万円～5,000 万円未満 1 件
- ・地域別では、大隅地区 1 件

【ポイント】

10 月度の倒産件数は前月を 4 件下回る 1 件であり、負債額自体も前月より減少する形となった。2014 年に入り倒産件数は 5 月同様に少なく、負債額 1,000 万円は 2014 年に入り最も少ない金額であった。

【今後の見通し】

消費増税後となる4月以降、小売業や飲食業においては反動による売上停滞が予想され、当初予想の夏場以降の回復も実感に乏しく、10月に入っても環境の好転はみられない状況が続いていた。

10月の倒産は2014年に入ってから5月同様に1件を数えるのみであり、結果から見ると倒産件数は減少する形となった。ただし、この結果を捉えて今後も引き続き倒産件数が減少すると予測する材料には乏しい。法的整理には至っていないものの、決済難に陥っている企業は複数散見されるもので、特に建設業においては直接要因ではないにしても、人材確保難を遠因として受注を見送るケースなども散見される。

また、多少回復感が窺われる観光業界においても霧島地区の入山規制が実施されるなど、地区観光業者にとっては今後の紅葉シーズンに痛手となる可能性も孕んでいる。

今後の動向としても卸売業、小売業にとっては県外資本進出によって外部環境は厳しさをましており、年末の資金需要に対応できないような体力が低下している企業にとっては、自力での再建断念を迫られる可能性も十分に予想される所であり、今後倒産件数が増加に転じるリスクは高いものとみられる。

平成26年10月企業倒産状況（法的整理のみ）

企業名	所在地	業種	負債総額 (百万円)	資本金 (千円)	態様
【個人】	鹿屋市	バー経営	10	0	破産
					1件 1,000万円



中央会関連主要行事予定

平成26年12月	
2日(火) 15:00	創業起業セミナー 鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」 ※詳細は右記を参照
4日(木) 17:30	女性部会会員懇談会 鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」
7日(日) 10:00	中小企業組合検定試験 宮崎市「宮崎県中小企業団体中央会」
11日(木) 16:00	青年部講習会 鹿児島市「パレスイン鹿児島」 ※詳細は右記を参照
12日(金) 14:00	青年部研究会 鹿児島市「県建設センター6F大会議室」
18日(木) 16:00	事務局講習会 鹿児島市「アーバンポートホテル鹿児島」 ※詳細は右記を参照
平成27年1月	
6日(火) 10:00	中央会年始会 鹿児島市「サンロイヤルホテル」

表紙・本文中に登場する
「ぐりぶー」「さくら」は
鹿児島県のPRキャラクターです♪

©鹿児島県ぐりぶー・さくら#195



創業起業セミナー

創業するなら今！！
組合制度を活用した創業と地域おこし
～六次産業化による地域活性化への挑戦～

講師 企業組合百笑一喜（大分県）
理事 荷宮 英二 氏
日時 平成26年12月2日（火）
15:00～17:00
場所 鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」

【お問い合わせ】 組織振興課

青年部講習会

やる気&チーム力UP
～組合青年部を活性化させる方法～

講師 株式会社アメックス
代表取締役 上山 泰寛 氏
日時 平成26年12月11日（木）
16:00～17:30
場所 鹿児島市「ホテルパレスイン鹿児島」

【お問い合わせ】 連携情報課

事務局講習会

新時代に向けた組合事務局のあり方

講師 明治大学 政治経済学部
教授 森下 正 氏
日時 平成26年12月18日（木）
16:00～18:00
場所 鹿児島市「アーバンポートホテル鹿児島」

【お問い合わせ】 組織振興課

中小企業かごしま（平成26年度 活性化情報第3号）

発行人 鹿児島県中小企業団体中央会 会長 小正芳史
〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 県産業会館5階
TEL 099-222-9258 FAX 099-225-2904
HP <http://www.satsuma.or.jp/>
印刷所 斯文堂株式会社